

第7年度

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

事業報告書



一般財団法人 とちぎメディカルセンター

住所 栃木県栃木市境町27番21号

電話 0282(20)1281

目 次

I. 事業の概況	1
（1）事業活動	1
（2）施設別事業の展開と結果	6
II. 事業運営に関する事項	9
（1）役員の状況	9
（2）事業の経過	10
（3）事業実績	14
III. 各施設の事業実績	16
（1）外来患者数の状況	16
（2）入院患者数の状況	16
（3）健診・検診事業 実施状況	16
（4）介護老人保健施設とちぎの郷 稼働状況	17
（5）訪問看護ステーション 稼働状況	17
（6）居宅介護支援事業所 稼働状況	17
（7）施設の設置状況	18
（8）職員の状況	20

～運営理念～

「心」の通う優れた医療を提供し、地域から信頼され愛されるメディカルセンターを目指します。

基本方針

1. 患者さん主体の安心・安全な質の高い医療、説明のよく行き届いた医療を提供します。
2. 治し、支える医療実現のために地域完結型医療体制を充実させ、地域包括ケアシステムの中核を担います。
3. 緊急性の高い疾患に対応できるよう救急医療体制の充実を図ります。
4. 質の高い医療を恒常的に提供できるよう健全経営を目指します。
5. 誇りを持って働ける職場環境を整備し、患者さんに最善のサービスができるよう努めます。
6. 恒常的な資質向上と次世代の育成を図るため教育プログラムを充実させます。

I. 事業の概況

(1) 事業活動

本格稼働から4年目となる今年度は、昨年度に引き続き2期連続の経常黒字を達成すべく法人内外の更なる連携・体制の強化に努めた。

とちぎメディカルセンター（以下、TMCとする）しもつが・TMCとちのきにおいて、“市民公開講座”を毎月開催し、地域住民に向けて医療情報を発信した（4月－1月実施）。また、地域住民にTMCをより深く知ってもらうための“タウンミーティング”は4回、地域からの要望に応じて職員が出向く“出前講座”については29回実施した。このような行事の情報はホームページ上への掲載だけでなくTwitterの法人公式アカウントからリアルタイムでの発信を開始した。

また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、法人全体で面会の禁止・制限、大人数で行う会議の中止など感染拡大防止策を講じている。TMCしもつがは栃木県南地域の中核病院として、また、県南保健医療圏唯一の第2種感染症指定医療機関として十分に役割を果たした。

【4月】

- 看護スタッフの充足によりTMCとちのき療養病棟の未開棟であった36床を開棟させ、法人発足より7期目にしてTMCの全病棟を稼働させた。より早期に病床の稼働を上げ、安定した患者受け入れを行うために、総合連携推進本部を中心に据え大学病院との連携強化を進めた。更にTMC内2病院と訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の連絡体制を密に、患者退院後の在宅医療を推進した。

（施設の設置状況については18ページを参照ください。）

- 働き方改革関連法の一部が4月1日から施行された。当法人では管理職を対象に、社会保険労務士による「年次有給休暇の5日取得義務」「勤務環境マネジメント」についての研修会を実施した。以前から運用している勤怠管理システムにて、医師を含む全職員の勤怠・有給休暇取得状況の把握に努めており、各管理職者との情報共有を行った。

【7月】

- 継続した法人運営の強化充実を図るために「地域に開かれた医療機関を目指すための組織機構」「人材をより良く育むための組織機構」「法人本部の指揮命令系統と責任の所在の明確化」との組織改編の方針が定められ、法人の情報及び広報に関する事項を統括する部署として「広報部」を、職員の教育・指導・人材開発に関する事項を取り扱う部署として「人材開発部」を新たに設置した。

【9月】

- 「一般財団法人とちぎメディカルセンターにおけるハラスメントの防止等に関する規程」を制定し、職場におけるハラスメントの防止、発生した問題への適切な対応、働きやすい環境の整備を行った。

【10月】

- 台風 19 号により栃木市内の河川の氾濫、交通機関の遮断、家屋の浸水や自家用車の水没などが発生し多くの職員が被災した。幸いにして設備への影響も少なく、事業を継続した。
- 消費税の増税改定により材料費等の一部費用が増加したが、診療報酬・介護報酬の改定により収入も試算通りに推移したため、収支比率に大きな影響は見られなかった。
- TMC 総合健診センターの MRI・CT を廃止し、その機能を TMC しもつがに移行した。事前に TMC しもつがでは 5 月に MRI を新規増設し、予約検査の混雑・待機期間の解消と救急患者への迅速な対応を可能にした。

【11月】

- 前年度（2018 年度）に策定した事業継続計画（病院・支援事業継続計画、総合 BCP）に関連して、大規模災害時等における事業活動の迅速な復旧に必要な人的経営資源の確保と職員の安全確認を行うため安否確認システムを導入した。

【3月】

- 法人発行の広報紙名称を従来の「TMC 通信」から「とちぎメディカルセンター通信」に改め、内容を刷新し地域への情報発信と交流を図るツールとした。

【外来患者数の状況】

TMC しもつが外来患者数と年間紹介率

	患者数	1日当り	年間紹介率	外来診療収益 単位：百万円
'17	延 151,423 人	620.6人/日	61.2%	1,889
'18	延 164,241 人	675.9人/日 +55.3人/日	59.9%	2,170 + 281
'19	延 167,980 人	697.0人/日 +21.1人/日	62.5%	2,361 + 191

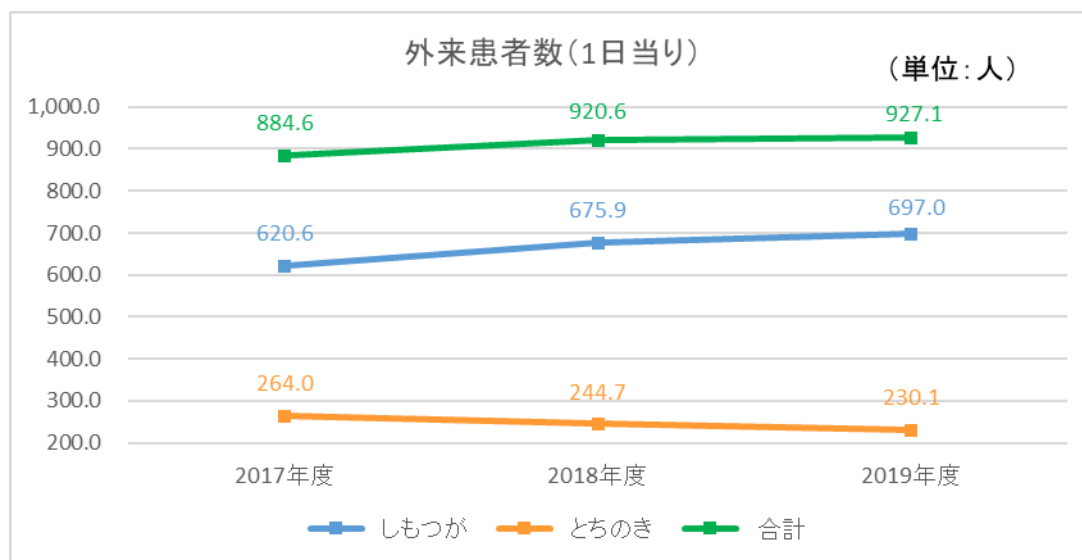
※年間紹介率は、初診紹介患者数を基礎とする

TMC とちのき外来患者数と年間紹介率

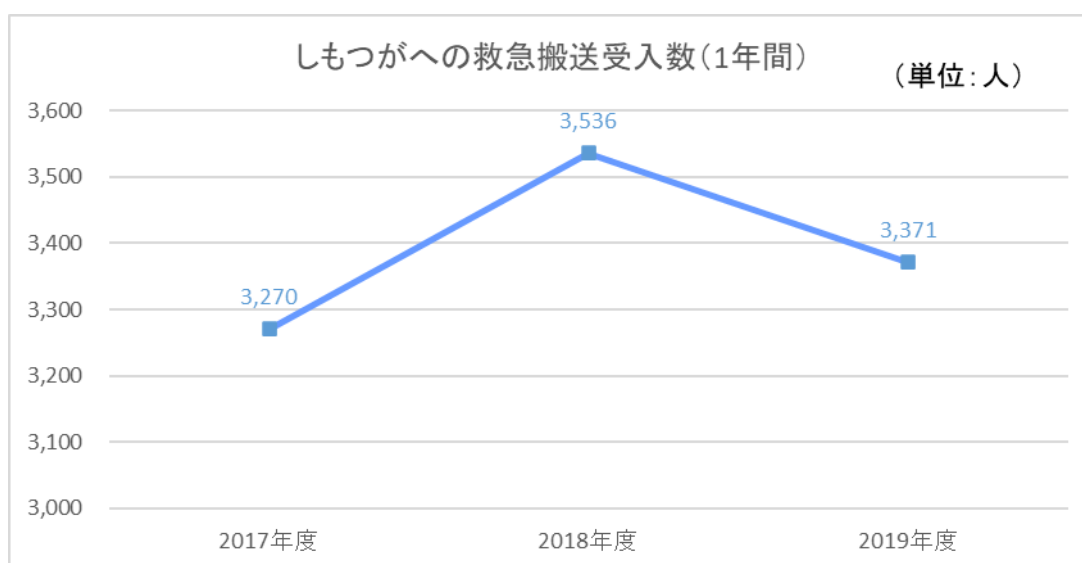
	患者数	1日当り	年間紹介率	外来診療収益 単位：百万円
'17	延 77,354 人	264.0人/日	14.9%	616
'18	延 71,453 人	244.7人/日 ▲19.3人/日	18.8%	585 ▲31
'19	延 66,497 人	230.1人/日 ▲14.6人/日	23.9%	561 ▲24

※年間紹介率は、初診紹介患者数を基礎とする

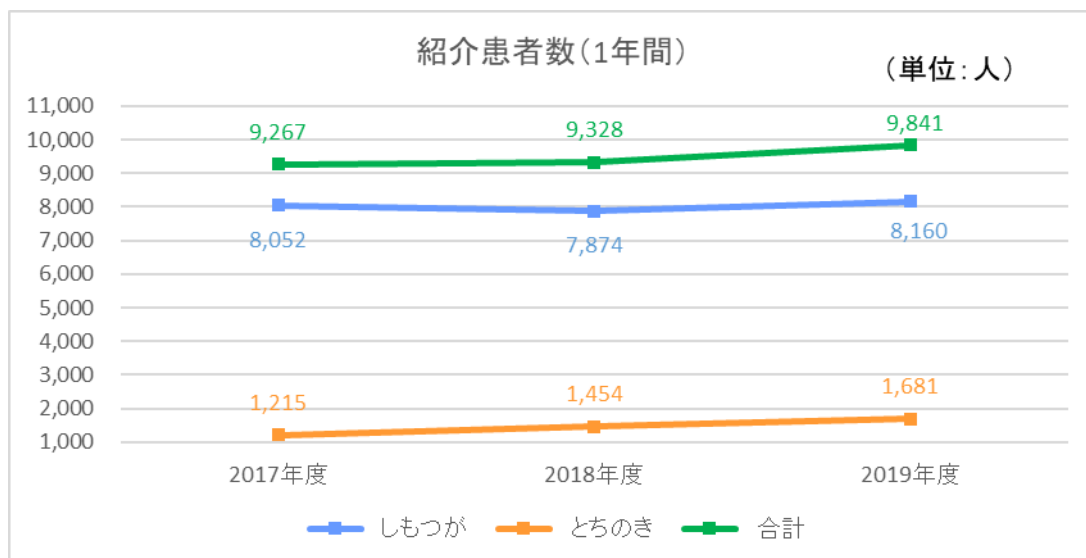
(グラフー1) 外来患者数の推移



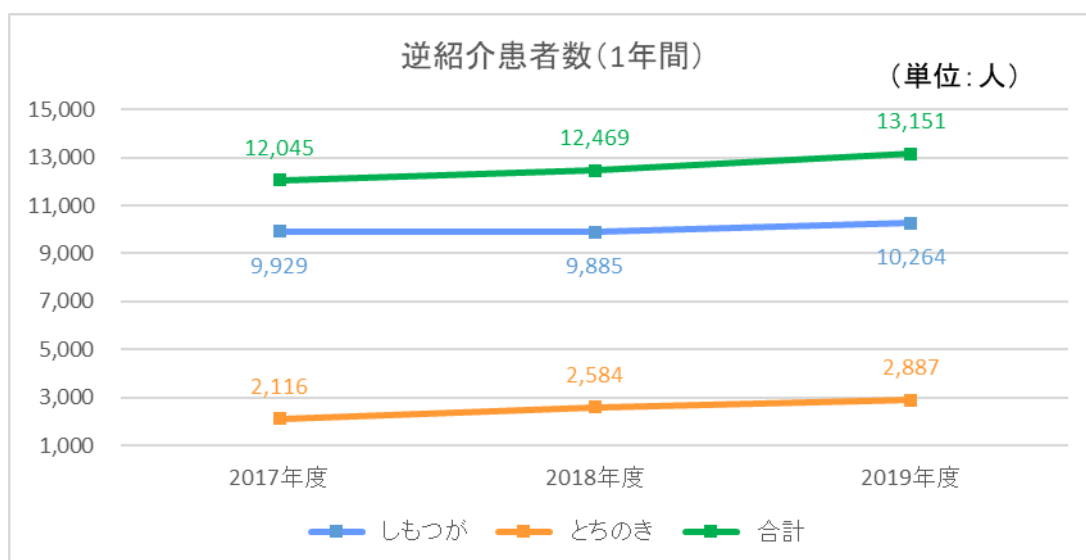
(グラフー2) 救急搬送受入数の推移



(グラフー3) 紹介患者数の推移



(グラフー4) 逆紹介患者数の推移



【入院患者数の状況】

TMC しもつが入院患者数と収益

	患者数	1日当り	入院診療収益 単位：百万円
'17	延 87,291 人	239.2人/日	4,379
'18	延 94,391 人	258.6人/日 +19.4人/日	4,925 +546
'19	延 94,083 人	257.1人/日 ▲1.5人/日	4,820 ▲105

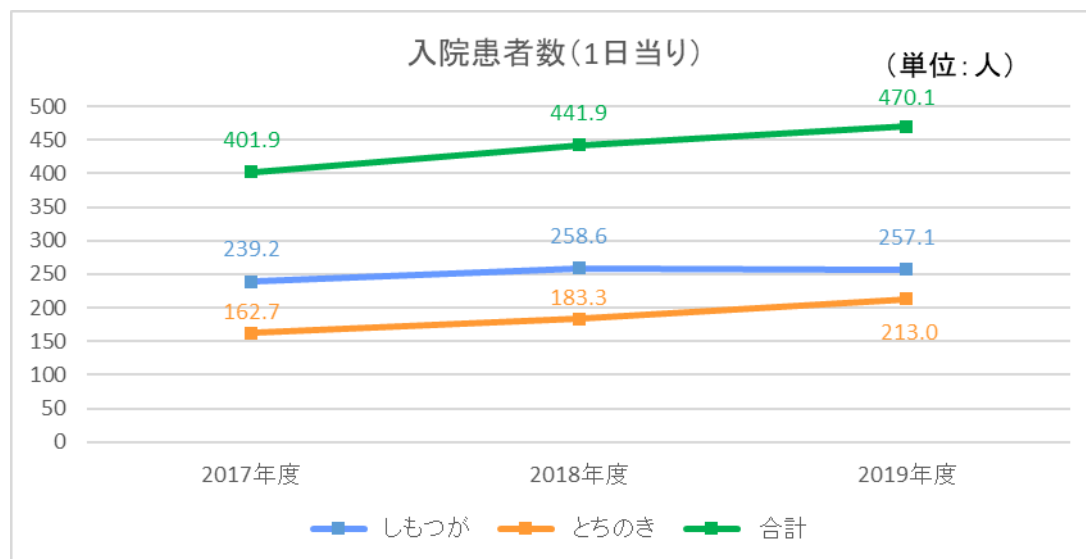
※入院診療収益は、給食・室料を除く

TMC とちのき入院患者数と収益

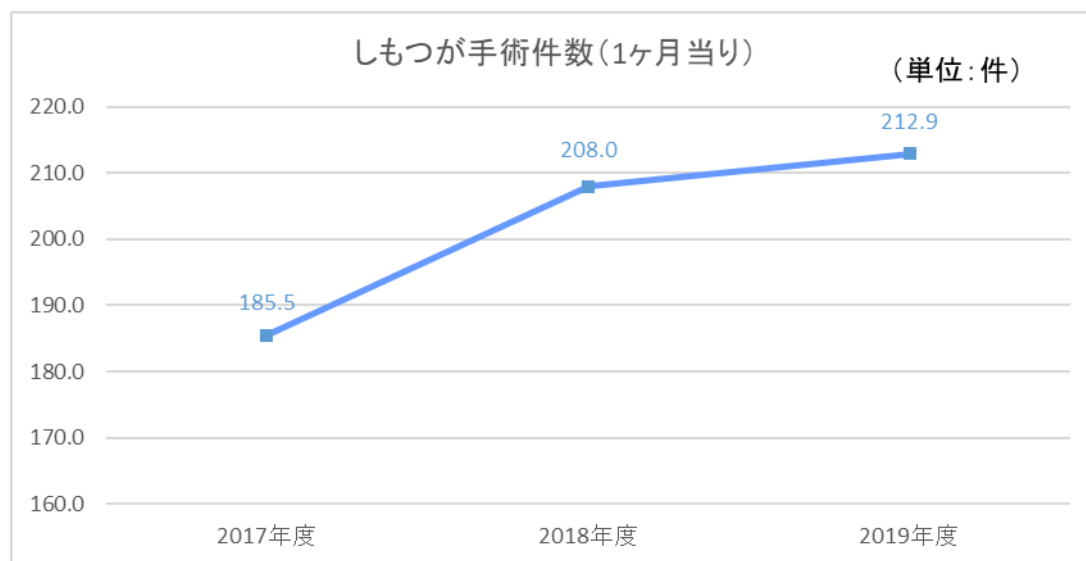
	患者数	1日当り	入院診療収益 単位：百万円
'17	延 59,377 人	162.7人/日	1,567
'18	延 66,921 人	183.3人/日 +20.6人/日	1,897 +330
'19	延 77,971 人	213.0人/日 +29.7人/日	2,101 +204

※入院診療収益は、給食・室料を除く

(グラフ-5) 1日当り入院患者数の推移

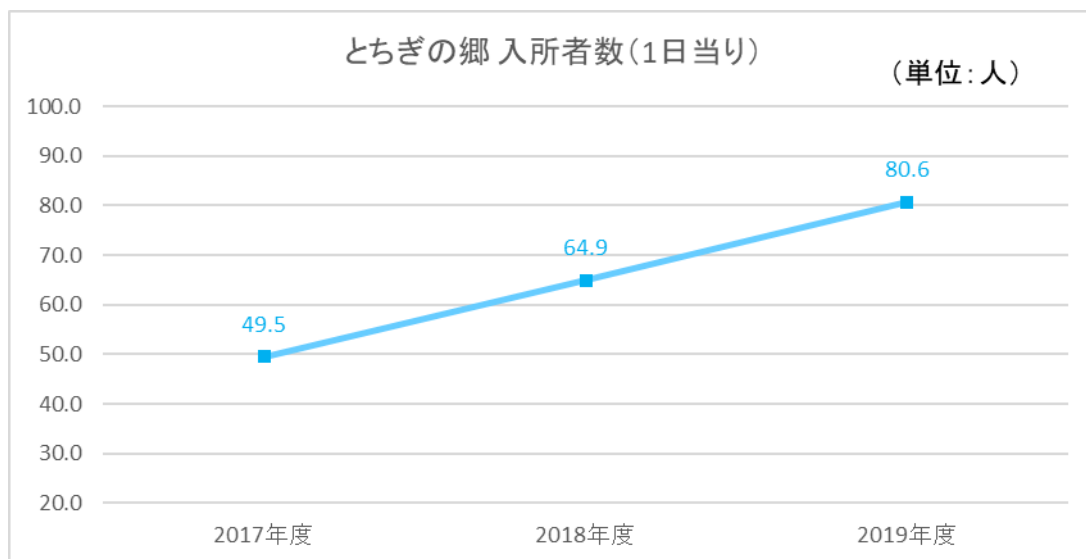


(グラフ-6) 手術件数の推移



【入所者数の状況】

(グラフー7) 老健とちぎの郷入所者数の推移



こうした状況下において、事業収益は115.1億円、受取補助金等4.8億円、医業外収益1.0億円となり、合計で経常収益120.9億円を計上した。一方、事業費は116.7億円、管理費等4.0億円となり、合計で経常費用120.8億円（うち減価償却費11億8千万円）を計上した。以上から当期経常増減額は6百万円となり、2期連続での経常黒字を達成した。

(2) 施設別事業の展開と結果

○TMCしもつが

診療体制については、4月に整形外科医師1人、9月に脳神経外科医師1人の増員を図ることができた。また、臨床研修医について、4月より2年目となる3人に加え、新たに4人の研修医が臨床研修を開始した。一方で循環器内科は、医師3人体制でスタートしたが10月に1人が退職した。下期は2人体制となったが、非常勤医師を確保することにより診療への影響を最小限に留めることができた。

診療機能の強化、充実については、5月にMRI装置（1.5T）を増設し予約待ちの短縮を図るとともに、TMC総合健診センターのMRI廃止に伴い10月から共同利用の受入れを開始した。

懸案事項だった急患センターについて、栃木市医師会、栃木市との話し合いにより、運営の基本となる基本的連携事項を取りまとめ、名称を「栃木地区医療連携診察室」として2020年4月の実運用の開始に向けた準備を完了した。

患者数等については、外来患者数は延べ167,980人（1日当たり697.0人、前年度比+21.1人）で、入院患者数は延べ94,083人（1日当たり257.1人、前年度比▲1.5人）、病床稼働率83.7%（前年度比▲0.5%）となっている。計画数（外来678人、入院268人）との対比において、外来は19.0人上回り、入院は10.9人下回る結果となった。また、手術件数は2,555件（前年度比+59件）、救急患者数は延べ6,896人（前年度比▲268人）、うち救急車で搬送受入患者数が3,371人（前年度比▲165人）となっているが、栃木市消防本部火災救急救助白書によれば、管内における救急搬送人数が136人（2018年度：6,551人→2019年度：6,415人）減っている状況下での数字である。一方で患者重複や病床事情等を理由とする受入困難も129人（2018年度：821人→2019年度：950人）増えており、今後に向けての課題である。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により2月、3月と外来、入院共に患者数は減少したが、その中においても外来は前年度を上回る結果となり、入院もほぼ前年度並みとなった。

以上の状況等から、移転後4年目となる今年度の当期経常増減額は169百万円（前年度比▲190百万円）となった。

○TMC とちのき

病院が目標とする各機能別病床区分（一般病床・療養病床・回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床・緩和ケア病床計250床）のうち、未稼働病床の療養病棟36床（西棟2階）を4月に開棟し、円滑に稼働させることができた。常勤医師数は前年度同様11人の診療体制でスタートし年度末まで維持できた。また、医師事務作業補助者を5人増員し、医師のさらなる負担軽減を図り医療環境を充実させることができた。

入院患者数については、在宅療養後方支援病院として夜間入院受け入れ体制を強化し、緩和ケア病棟の更なる活用を行った。また、大学病院及び地域の医療機関との地域医療連携体制の強化と在宅復帰の促進を行うなど、患者数の増加に向けた取り組みを行った結果、入院患者数は前年度を上回り、延べ77,971人（1日当たり213.0人、前年度比+29.7人）となった。

外来患者数については、延べ66,497人（1日当たり230.1人、前年度比▲14.6人）であり、しもつが外来への集約傾向が続いている。

健診部門は、精度管理体制を確立する上で医療スタッフ及び設備が不足していることにより1日当たり10人の人間ドック受け入れ上限人数を15人（前年度比▲2人）としたため、利用者数は前年度を下回る3,849人（前年度比▲250人）となった。

以上の状況等から、当期経常増減額は223百万円（前年度比+1百万円）となった。

○総合保健医療支援センター

(介護老人保健施設とちぎの郷)

今年度は、100床を全稼働とし、入所者総数は29,513人（前年度比+5,818人）、1日当りの入所者数は80.6人（前年度比+15.7人）となった。通所サービス利用者総数は5,128人（前年度比+831人）、1日当たりの通所者数は17.6人（前年度比+2.9人）となった。11月からは、夜勤体制をこれまでの4名から5名に増員し、夜勤職員配置加算の算定を開始した。

以上の状況等から、当期経常増減額は21百万円（前年度比+66百万円）となった。

(総合健診センター)

今年度は、保健予防活動としての健診（検診）事業を実施しながら、人間ドックと巡回健診を行った。10月には、これまで使用していたMRIとCT装置を廃止した。その結果、人間ドック利用者数は324人（前年度比+163人）、事業所健診24,589件（前年度比+4,731件）、学校健診25,836件（前年度比▲4,896件）、生活習慣病予防健診（乳がん・子宮がん検診等を含む）4,652件（前年度比+233件）となった。

以上の状況等から、当期経常増減額は▲49百万円（前年度比+10百万円）となった。

(訪問看護ステーション)

訪問看護ステーションの利用者数は1,730人（介護保険1,406人・医療保険310人・併用14人）で、総訪問件数9,416件（看護師7,360件・リハビリ2,056件）、1日当たり39.1件（前年度比▲4.3件）となった。3年目となる訪問リハビリは、職員数の減少等により若干減少した。

以上の状況から、当期経常増減額は4百万円（前年度比+1百万円）となった。

(居宅介護支援事業所)

居宅介護支援事業所の保険請求件数は1,072件（前年度比▲295件）、相談件数は3,555件（前年度比▲926件）、法人内連携件数1,147件（前年度比▲326件）であった。

以上の状況等から、当期経常増減額は▲1百万円（前年度比+3百万円）となった。

○法人本部

7月の組織体制見直しにより人材開発部、総合連携推進本部に広報部を新たに設置した。旧体制の業務を整理し、人材開発部は職員の教育・指導に関する事項、TMC教育委員会・学術実行委員会を運営し、職員研修・学術集会の企画立案及び実施などを、広報部は情報及び広報に関する事項、広報・ホームページ委員会を運営し、広報紙の発行、ホームページやソーシャルメディアを用いた情報発信、タウンミーティングや市民公開講座などの市民交流に関する事項などをそれぞれ担当した。

費用面では、委託先との契約内容の見直しなど経費削減に取り組んだ結果、委託費が25百万円（前年度比▲3百万円）となった。

以上の状況等から、当期経常増減額は▲361百万円（前年度比+4百万円）となった。

II. 事業運営に関する事項

(1) 役員 の 状 況

1) 役員数

(単位:人)

区分	就任	退任	当期末	定款に定める役員数
理事 (うち常勤)	12 (10)	0 (0)	12 (10)	3名以上13名以内
監事 (うち常勤)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1名
計	13	0	13	

2) 当期末現在の役員

区 分			氏 名	就任日	任 期※	備 考
役職名	常勤・非常勤	代表権の有無				
代表理事	常勤	有	福 田 健	2018年6月18日	2020年3月31日	理事長
代表理事	常勤	有	森 田 辰 男	2018年6月18日	2020年3月31日	副理事長
理事	常勤	無	麻 生 利 正	2018年6月18日	2020年3月31日	会長
理事	常勤	無	小 暮 義 雄	2018年6月18日	2020年3月31日	副理事長
理事	常勤	無	栗 田 昭 治	2018年6月18日	2020年3月31日	専務理事
理事	常勤	無	中 間 季 雄	2018年6月18日	2020年3月31日	業務執行理事
理事	常勤	無	成 田 純 一	2018年6月18日	2020年3月31日	業務執行理事
理事	常勤	無	早乙女 勇	2018年6月18日	2020年3月31日	
理事	常勤	無	村 野 俊 一	2018年6月18日	2020年3月31日	
理事	非常勤	無	川 島 吉 人	2018年6月18日	2020年3月31日	
理事	非常勤	無	南 斉 好 伸	2018年8月8日	2020年3月31日	
理事	常勤	無	高 橋 一 典	2019年4月1日	2020年3月31日	3月31日付辞任
監事	非常勤	無	奈良部 俊 次	2017年6月29日	2021年3月31日	

※事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(2) 事業の経過

年	月	日	実施事項
'19	4	1	入職式
		3	出前講座「とちぎメディカルセンターの機能と役割と上手な病院のかかわり方」 「もしもがんになったら」
		9	第1回医師会・TMC 連絡調整会議
		17	市民公開講座（於：とちのき） 「腰痛について」～腰痛予防と軽減を目指して～
		24	市民公開講座（於：しもつが） 「リウマチってどんな病気？」
	5	7	第2回医師会・TMC 連絡調整会議
		15	第1回理事会（書面決議） 【議題】 ・評議員選定委員会外部委員（補欠）の選任に関する件 ・2019年度第1回評議員会の開催に関する件
			市民公開講座（於：とちのき） 「ミドル臭・加齢臭が気になりますか？」
		19	第3回 TMC まつり 市民公開講座 講師：栃木県看護協会会長 渡邊カヨ子 演題：「地域でより良く生きるために」
		22	市民公開講座（於：しもつが） 「膝の痛みについて」～痛みなく歩けていますか？～
	6	4	第3回医師会・TMC 連絡調整会議
		5	タウンミーティング（大平町土与）
		11	出前講座「病院への上手なかかり方と女性のための健康体操」
		17	出前講座「膝の痛みで困っていませんか」
		19	市民公開講座（於：とちのき） 「ドキッ！動悸のお話」
		20	第2回理事会 【議題】 ・2018年度事業報告書（案）について ・TMC 法人本部の組織機構の改編について ・組織運営・業務分掌規程等の一部を改正する規程の制定について ・TMC しもつがホルミウムヤグレーザーシステムの購入について ・TMC しもつが移動型デジタル式汎用一体型 X 線透視診断装置の更新について ・TMC とちのき X 線骨密度測定装置の更新について ・2019年度の賞与資金調達について
		21	出前講座「いつまでも自分の足で歩くために」

	26	市民公開講座（於：しもつが） 「退院と言われても・・・」～ソーシャルワーカーの仕事～
	28	第1回評議員会 【報告】 ・2018年度事業報告及び決算について ・TMC 法人本部の組織機構の改編について ・組織運営・業務分掌規程等の一部を改正する規程の制定について ・2019年度の賞与資金調達について
7	2	第4回医師会・TMC 連絡調整会議
	17	市民公開講座（於：とちのき） 「脱水について」 「救急車の適正利用について」
	23	出前講座「いつまでも自分の足で歩くために」
	24	市民公開講座（於：しもつが） 「脱水について」 「救急車の適正利用について」
	25	出前講座「頻尿・尿漏れを治す方法 認知症を近づけないように」 「膝・肩・腰痛みなく生活できていますか」
	30	出前講座「肩・膝の痛みで困っていませんか」
8	20	出前講座「膝・肩・腰痛みなく生活できていますか」
	21	市民公開講座（於：とちのき） 「認知症と診断された方との接し方」
		出前講座「膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」 「嚥下体操」
	23	出前講座「膝・腰・肩痛みなく、いつまでも自分の足で歩く」
	28	市民公開講座（於：しもつが） 「食後高血糖予防の食事について」
9	3	第5回医師会・TMC 連絡調整会議
	11	タウンミーティング（岩舟地区）
	13	タウンミーティング（藤岡地区）
	18	市民公開講座（於：とちのき） 「脳卒中の後遺症がある方の生活の工夫」
	25	市民公開講座（於：しもつが） 「おしっこのトラブルについて」
	26	第3回理事会 【議題】 ・一般財団法人とちぎメディカルセンターにおけるハラスメントの防止等に関する規程の制定について ・就業規則等の一部を改正する規則の制定について（懲戒等、年次有給休暇） ・育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

		<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部を改正する規程の制定について（年末年始手当） ・医師給与規程の一部を改正する規程の制定について（当直関連手当） ・TMC とちのき 一般 X 線撮影装置の更新について ・TMC とちのき 南棟変電設備及び非常用発電装置の更新について
	30	出前講座「尿漏れは予防できる」
10	1	第 6 回医師会・TMC 連絡調整会議
	15	タウンミーティング（都賀町合戦場）
	16	市民公開講座（於：とちのき） 「糖尿病ってどんな病気？」
	21	出前講座「膝・肩・腰痛みなく生活できていますか」
	23	市民公開講座（於：しもつが） 「インフルエンザの予防」
	28	出前講座「膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」
	31	出前講座「膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」
11	3	出前講座「嚥下機能と誤嚥性肺炎予防」
	5	第 7 回医師会・TMC 連絡調整会議
	15	第 4 回理事会（書面決議） 【議題】 ・第 2 回評議員会の開催に関する件
	20	市民公開講座（於：とちのき） 「脳卒中予防について」
	21	出前講座「膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」
	22	出前講座「おしっこの話 又は膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」
	27	市民公開講座（於：しもつが） 「糖尿病教室～血糖を上げる食事、上げない食事 カーボカウントを学びましょう～」
12	3	第 8 回医師会・TMC 連絡調整会議
	4	第 5 回理事会 【議題】 ・2019 年度上半期収支実績について ・台風 19 号による被災職員への見舞金対応について
	9	第 2 回評議員会 【報告】 ・2019 年度上半期収支実績について
	10	出前講座「肩・腰・膝の痛みで困っていませんか」
	18	市民公開講座（於：とちのき） 「誤嚥性肺炎を予防する食事のとり方」
		出前講座「膝・腰・肩痛みなく生活できていますか」
	25	市民公開講座（於：しもつが） 「知らなきゃ損々糖尿病」

’20	1	15	市民公開講座（於：とちのき） 「患者さんに知ってほしい薬の知識」 出前講座「尿漏れは予防できる」
		22	市民公開講座（於：しもつが） 「認知症」～ものわすれについて～
		23	出前講座「栃木市ふるさと学習 ～地域で働く先輩に学ぶ～」
		25	第7回とちぎメディカルセンター学術集会
		27	出前講座「いつまでも自分の足で歩くために」
		30	出前講座「知ってる？嚥下機能」 「こわいぞ！誤嚥性肺炎」 「みんなで動かすぞ 頭頸部」
	2	4	第6回理事会（書面決議） 【議題】 ・第3回評議員会の開催に関する件 第9回医師会・TMC 連絡調整会議
		9	出前講座「とちぎメディカルセンターの機能と役割」
		17	出前講座「嚥下機能と誤嚥性肺炎予防」 「おしっこの話」
		18	出前講座「肩・腰・膝の痛みで困っていませんか」
		19	市民公開講座（於：とちのき） 「摂食嚥下障害のセルフチェックと訓練」
	3	18	第7回理事会（書面決議） 【議題】 ・2020年度事業計画（案）について ・組織規程の一部改正について（しもつが・とちのき） ・給与規程の一部改正について（臨床心理士、公認心理師） ・等級規程の一部改正について（臨床心理士、公認心理師） ・総合健診センター画像ファイリングシステムサーバーの更新について ・第3回評議員会 決議の省略による開催について 【報告】 ・経営概況及び今期見込みについて ・理事の辞任について
		30	第3回評議員会（書面決議） 【議題】 ・2020年度事業計画書（案）について 【報告】 ・経営概況及び今期見込みについて ・理事の辞任について

(3) 事業実績

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度	科目	当年度
I. 資産の部		II. 負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	372,623	買掛金	523,711
医業未収金	1,633,352	未払金	261,387
未収金	23,513	未払費用	102,892
医薬品	55,597	仮受金	416
診療材料		預り金	622
給食用材料		従業員預り金	43,770
貯蔵品		短期借入金	2,600,000
前払費用	9,918	1年内返済予定長期借入金	100,000
未収収益	410	賞与引当金	376,015
仮払金	105	未払消費税等	14,283
立替金	1,234	未払法人税等	165
貸倒引当金	▲9,798	リース債務	258,030
流動資産合計	2,086,956	流動負債合計	4,281,292
固定資産		固定負債	
基本財産		長期借入金	4,970,658
基本財産特定預金	3,000	退職給付引当金	
基本財産合計	3,000	長期未払金	22,369
特定資産		長期前受補助金	447
建設仮勘定		リース債務	899,473
建物	5,526,682	固定負債合計	5,892,947
建物附属設備	3,425,183	負債合計	10,174,239
構築物	274,030		
医療用器械備品	23,012		
その他の機械備品	55,943		
車両及び船舶	28,554		
特定資産合計	9,333,403		
その他固定資産			
建物	549,064		
建物附属設備	141,997		
構築物	56,435		
医療用器械備品	305,258		
その他の器械備品	132,687		
車両及び船舶	1,600		
土地	434,965		
借地権	4,797		
ソフトウェア	142,884		
その他の無形固定資産	120		
有価証券	10		
役員従業員長期貸付金	38,700		
長期前払費用	68,515		
前払年金費用	207,830		
長期未収金	6,610		
その他の固定資産	1,757		
リース資産	1,154,332		
その他の固定資産合計	3,247,562		
固定資産合計	12,583,965		
資産合計	14,670,921		
		正味財産の部	
		III. 正味財産の部	
		指定正味財産	
		地方公共団体補助金	6,966,546
		民間補助金	14,277
		寄付金	3,000
		指定正味財産合計	6,983,823
		一般正味財産合計	▲2,487,141
		正味財産合計	4,496,681
		負債・正味財産合計	14,670,921

(注) 千円未満の端数を四捨五入しているため、合計が一致しないことがある。

正味財産増減計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業収益		11,512,144
1 医業収益	10,910,464	
(1) 入院診療収益 (給食及び室料含む)	7,384,675	
(2) 外来診療収益	2,944,637	
(3) 保健予防活動収益	513,194	
(4) 受託検査・施設利用収益	4,359	
(5) その他の医療収益	70,661	
(6) 保健査定増減	▲7,062	
2 老健施設運営収益	469,981	
3 訪問看護収益	82,222	
4 老人福祉事業収益	31,441	
5 その他の事業収益	18,035	
II 受取補助金等 (内 受取補助金等振替額)	405,265	477,187
III 受取寄付金		0
IV 医業外収益		97,621
經常収益計		12,086,953
V 事業費		11,673,918
(1) 材料費	2,108,549	
(2) 給与費	6,074,245	
(3) 委託費	1,128,971	
(4) 設備関係費 (内 減価償却費 A)	1,142,095	
(5) 研究研修費	23,748	
(6) 経費	489,174	
(7) その他の事業費	58,401	
VI 管理費 (内 減価償却費 B (内 減価償却費 A+B合計 (内 支払利息)	34,523 1,176,619 115,552	395,753
VII その他の經常費用		11,251
經常費用計		12,080,922
当期經常増減額		6,030
VIII 經常外収益		2
IX 經常外費用		14
税引前一般正味財産増減額		6,019
X 法人税、住民税及び事業税		165
当期一般正味財産増減額		5,853

(注) 千円未満の端数を四捨五入しているため、合計が一致しないことがある。

Ⅲ. 各施設の事業実績

(1) 外来患者数の状況

(単位：人)

外 来	しもつが (外来241日)		とちのき (外来289日)		とちぎメディカル センター診療所 (外来241日)		合 計	
	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比
合 計	167,980	+ 3,739	66,497	▲4,956	982	▲681	235,459	▲1,898
1日平均	697.0	+ 21.1	230.1	▲14.6	4.1	▲2.7	931.2	+ 3.8

(2) 入院患者数の状況

(単位：人)

入 院	しもつが (307床)		とちのき (250床)		合 計		
	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	延患者数	前年度比	
病棟機能別患者数							
一 般	78,731	▲1,590	11,995	▲1,140	90,726	▲2,730	
しもつが：263床 とちのき：42床	81.8%	▲1.9%	78.0%	▲7.7%	81.3%	▲2.6%	
地域包括ケア	15,352	+ 1,282	11,471	+ 326	26,823	+ 1,608	
しもつが：44床 とちのき：36床	95.3%	+ 7.7%	87.1%	+ 2.3%	91.6%	+ 5.2%	
回復期リハビリ			11,839	+ 373	11,839	+ 373	
とちのき：36床	—	—	89.9%	+ 2.6%	89.9%	+ 2.6%	
療 養			39,458	+ 11,323	39,458	+ 11,323	
とちのき：122床	—	—	88.4%	▲1.2%	88.4%	▲1.2%	
緩和ケア			3,208	+ 168	3,208	+ 168	
とちのき：14床	—	—	62.6%	+ 3.1%	62.6%	+ 3.1%	
感 染 症			—	—	—	—	
合 計	延患者数	94,083	▲308	77,971	+ 11,050	172,054	+ 10,742
	1日平均	257.1	▲1.5	213.0	+ 29.7	470.1	+ 28.1
	稼働率	83.7%	▲0.5%	85.2%	▲0.5%	84.4%	▲0.4%

%は病床稼働率

(3) 健診・検診事業 実施状況

(単位：人)

	人間ドック	健診・検診	備考
とちのき	3,849	4,204	
前年度比	▲250	▲3,124	
総合健診センター	324	56,049	(事業所健診24,589、学校健診25,836、 一般結核・予防接種等972、生活習慣病 健診4,652)
前年度比	163	▲438	

(4) 介護老人保健施設とちぎの郷 稼働状況

(単位：人)

	年間利用者数 (稼働日数366日)	1日当利用者数
	長期入所	27,716
前年度比	+5,440	+14.7
短期入所	1,797	4.9
前年度比	+378	+1.0
通所 (291日)	5,128	17.6
前年度比	+831	+2.9

(入所定員：100人，通所定員：20人)

(5) 訪問看護ステーション 稼働状況

(単位：人)

	年間利用者数 (稼働日数241日)	1日当利用者数
	介護保険 延訪問件数	7,036
前年度比	▲823	▲3.1
医療保険 延訪問件数	2,380	9.9
前年度比	▲308	▲1.2
合計 延訪問件数	9,416	39.1
前年度比	▲1,131	▲4.3

(6) 居宅介護支援事業所 稼働状況

(単位：件)

	年間相談件数 (稼働日数241日)	1日当相談件数
	合計 相談件数	8,843
前年度比	▲1,954	▲7.7
うち対面	2,375	9.9
前年度比	▲541	▲2.1
うち文書・電話	6,468	26.8
前年度比	▲1,413	▲5.6

(7) 施設の設置状況

施設名		しもつが		とちのき		とちぎの郷		総合健診センター	
許可・稼働病床等	一般 (地域包括ケア)	301床	257床	128床	42床	—		—	
	(回復リハ)		44床		36床	—		—	
	(緩和ケア)	—	—		36床	—		—	
	療養	—	—		14床	—		—	
	感染症	6床	—	122床	—		—		
	計	307床	—	250床	—		—		
	老健施設	—	—	—	100床		—		
	職員配置数		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤
医師		50.0	12.3	10.5	5.7	1.5	—	1.0	0.1
保健師		—	0.4	1.0	—	—	—	—	—
看護師		226.0	19.4	109.0	6.7	8.0	0.9	3.0	3.4
准看護師		15.0	4.2	32.0	2.5	4.0	0.6	—	1.0
薬剤師		15.0	0.5	4.7	—	0.3	—	—	—
臨床検査技師		26.0	1.2	12.0	—	—	—	5.0	1.2
放射線技師		17.0	—	9.0	—	—	—	2.0	0.6
管理栄養士		8.0	—	6.0	—	1.0	—	—	—
栄養士		—	—	—	—	—	—	—	—
理学療法士		22.0	0.1	25.0	—	7.0	—	—	—
作業療法士		10.0	—	14.0	—	2.0	—	—	—
言語聴覚士		4.0	—	7.0	—	1.0	—	—	—
視能訓練士		—	1.6	—	—	—	—	—	—
臨床工学技士		6.0	—	4.0	—	—	—	—	—
社会福祉士		4.0	—	3.0	—	1.0	—	—	—
精神保健福祉士		1.0	—	—	—	—	—	—	—
臨床心理士		—	—	—	0.3	—	—	—	—
介護福祉士		—	—	19.0	0.6	23.0	—	—	—
保育士		4.0	—	3.0	1.7	—	—	—	—
一般事務員		17.0	2.0	23.0	0.5	1.0	—	17.0	0.5
医事事務員		16.0	—	11.0	1.0	2.0	—	—	—
薬局事務員		—	—	—	—	—	—	—	—
診療情報管理士		9.0	—	1.0	—	—	—	—	—
クラーク		8.0	0.5	4.0	—	—	—	—	—
医師事務作業補助者		19.0	—	10.0	—	—	—	—	—
薬局助手		2.0	1.3	2.0	—	—	—	—	—
放射線助手		2.0	—	1.0	0.6	—	—	—	—
検査助手		3.0	1.6	—	—	—	—	—	—
リハビリ助手		1.0	—	2.0	—	—	—	—	—
調理師		—	—	—	—	—	—	—	—
調理員		—	—	—	—	—	—	—	—
ボイラー技士	—	—	—	—	—	—	—	—	
看護補助	20.0	3.9	16.0	3.3	6.0	—	—	—	
運転手	2.0	—	—	—	2.0	—	—	0.2	
その他の労務員	1.0	1.7	2.0	1.9	—	—	2.0	—	
計	508.0	50.7	331.2	24.8	59.8	1.5	30.0	7.0	
基準許可	入院基本料	一般	急性期一般入院料 1	急性期一般入院料 5	—		—		
		地域包括ケア	入院料 2	入院料 2	—		—		
		回復リハ	—	入院料 3	—		—		
		緩和ケア	—	○	—		—		
	療養	—	療養病棟入院料 1	—		—			
各種指定	救急告示病院	○		○		—		—	
	臨床研修病院	○ (基幹・協力)		—		—		—	
	地域医療支援病院	○		—		—		—	
	日本医療機能評価	—		○		—		—	

施設名		訪問看護ステーション		居宅介護支援事業所		本部		合計		
許可・稼働病床等	一般	—	—	—	—	—	—	—	—	
	(地域包括ケア)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	(回復リハ)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	(緩和ケア)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	療養	—	—	—	—	—	—	—	—	
	感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	
	老健施設	—	—	—	—	—	—	—	—	
職員配置数		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
	医師							63.0	18.1	
	保健師							1.0	0.4	
	看護師	9.0	0.4	1.0	0.5			356.0	31.3	
	准看護師	1.0						52.0	8.3	
	薬剤師							20.0	0.5	
	臨床検査技師							43.0	2.4	
	放射線技師							28.0	0.6	
	管理栄養士							15.0		
	栄養士									
	理学療法士							54.0	0.1	
	作業療法士							26.0		
	言語聴覚士							12.0		
	視能訓練士								1.6	
	臨床工学技士							10.0		
	社会福祉士			1.0				9.0		
	精神保健福祉士							1.0		
	臨床心理士								0.3	
	介護福祉士							42.0	0.6	
	保育士							7.0	1.7	
	一般事務員	2.0					19.0	0.6	79.0	3.6
	医事事務員								29.0	1.0
	薬局事務員									
	診療情報管理士								10.0	
	クラーク								12.0	0.5
	医師事務作業補助者								29.0	
	薬局助手								4.0	1.3
	放射線助手								3.0	0.6
	検査助手								3.0	1.6
	リハビリ助手								3.0	
	調理師									
	調理員									
ポイラー技士										
看護補助								42.0	7.2	
運転手								4.0	0.2	
その他の労務員								5.0	3.6	
計	12.0	0.4	2.0	0.5	19.0	0.6	962.0	85.5		
基準許可	入院基本料	一般	—	—	—	—	—	—	—	
		地域包括ケア	—	—	—	—	—	—	—	
		回復リハ	—	—	—	—	—	—	—	
		緩和ケア	—	—	—	—	—	—	—	
		療養	—	—	—	—	—	—	—	
各種指定	救急告示病院	—	—	—	—	—	—	—	—	
	臨床研修病院	—	—	—	—	—	—	—	—	
	地域医療支援病院	—	—	—	—	—	—	—	—	
	日本医療機能評価	—	—	—	—	—	—	—	—	

非常勤は常勤換算数にて表示

【非常勤職員1人当たりの常勤換算計算方法】=【非常勤職員の勤務時間】÷【常勤職員が勤務すべき時間】

(8) 職員の状況

(単位：人)

職 種		期 首		期 末	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤
医 師		62.0	18.6	63.0	18.1
看護職員	保 健 師	2.0	0.4	1.0	0.4
	助 産 師				
	看 護 師	356.0	31.5	356.0	31.3
	准 看 護 師	51.0	6.5	52.0	8.3
	小 計	409.0	38.4	409.0	40.0
医療技術員	薬 剤 師	21.0	0.5	20.0	0.5
	臨 床 検 査 技 師	43.0	2.4	43.0	2.4
	放 射 線 技 師	27.0	1.4	28.0	0.6
	管 理 栄 養 士	15.0		15.0	
	栄 養 士				
	理 学 療 法 士	56.0	0.2	54.0	0.1
	作 業 療 法 士	26.0		26.0	
	言 語 聴 覚 士	13.0		12.0	
	視 能 訓 練 士		1.5		1.6
	臨 床 工 学 技 士	11.0		10.0	
	社 会 福 祉 士	9.0		9.0	
	精 神 保 健 福 祉 士	1.0		1.0	
	臨 床 心 理 士		0.3		0.3
	介 護 福 祉 士	42.0	1.3	42.0	0.6
保 育 士	7.0	1.6	7.0	1.7	
小 計	271.0	9.2	267.0	7.8	
事務員	一 般 事 務	76.0	3.5	79.0	3.6
	医 事 事 務	29.0	1.0	29.0	1.0
	薬 局 事 務				
	診 療 情 報	9.0		10.0	
	ク ラ ー ク	4.0	0.5	12.0	0.5
	医 師 事 務	24.0		29.0	
	小 計	142.0	5.0	159.0	5.1
その他の職員	薬 局 助 手	4.0	1.3	4.0	1.3
	放 射 線 助 手	3.0		3.0	0.6
	検 査 助 手	3.0	1.7	3.0	1.6
	リ ハ ビ リ 助 手	3.0		3.0	
	調 理 師				
	調 理 員				
	ボ イ ラ ー 技 士				
	電 気 技 師				
	看 護 補 助	40.0	5.7	42.0	7.2
	運 転 手	5.0	0.9	4.0	0.2
	そ の 他 の 労 務 員	5.0	3.6	5.0	3.6
小 計	63.0	13.2	64.0	14.5	
計	947.0	84.4	962.0	85.5	

非常勤は常勤換算数にて表示

【非常勤職員1人当たりの常勤換算計算方法】＝【非常勤職員の勤務時間】÷【常勤職員が勤務すべき時間】

